

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年10月9日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	農学部農学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年9月18日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学デービス校(日本語名) University of California, Davis(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年6月～2024年9月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～3 月下旬 3 学期: 3 月下旬～6 月中旬 4 学期: 6 月中旬～9 月上旬
学生数	約 40,000 人
創立年	1905 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	8,500	1,258,000 円	記入時の為替で計算 (1\$ = 約 148 円)
宿舍費	2,914	431,272 円	
食費	820	121,360 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	181	26,788 円	
現地交通費	82	12,136 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	326	48,280 円	形態:
渡航旅費	1,081	160,000 円	
ビザ申請費	510	75,480 円	
雑費	250	37,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	14,664	2,170,316 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: サンフランシスコ 経由地: 復路 出発地: サクラメント 目的地: 羽田 経由地: ハワイ
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: Zip Air 料金: 75,000 復路 航空会社: Hawaiian 航空 料金: 85,000 ∴ 合計: 160,000
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
Facebook
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p> アパートは時間の融通が効いたり、生活リズムを自分に合わせられるのでストレスは少なかったです。しかし、3食自炊しなければならないことや、自分で契約作業もしなければならないので大変な部分もちろんあると思います。アメリカのアパート契約は9月1日から始まり、8月31日までとなっています。そして、アメリカには sublease という概念があり、これはアパートなどの住居契約を引き継ぐというものです。おそらくサマーセッションに参加する場合は6月～9月の期間滞在すると思います。その場合、誰かのアパートの契約を6月から8月31日まで引き継ぎ、残りの期間はホームステイをするか、誰かと交渉して残りの数週間どこかのアパートに滞在するという形になると思います。すごく大変に思われるかもしれませんが、アメリカでは頻繁に行われていることなのでそこまで心配する必要はないです。もしアパートの契約を検討する場合はFacebookのUC Davis Housing というコミュニティを検索してみてください。おそらく5月頃からだんだん Sublease 募集の投稿をする人がちらほら現れます。ただし、契約する際は信用できるか、住居の値段、立地、家具が備え付けられているか、電気代は別払いか Rent Fee に含まれているかなどきちんと確認してから契約をするようにしてください。 </p>

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

時々大学から送られてくる注意喚起のメールを見て情報収集していました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパート、キャンパスともにWifiの通信環境は良かったです。アメリカの携帯会社と契約しましたが、データ滞在時はさほど使う機会はなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用しました。現地でキャッシングすることもできますが、日本からあらかじめ持って行った現金で十分でした。実際に現金を使う機会は友達との割り勘ぐらいでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

味噌汁のインスタントは時間がないときによく利用してました。しかし、ある程度の日本食は少し高いですがデービスのダウンタウンにあるKim's MartやKobe Mini Martというお店で手に入れることができました。今皆さんが読んでいる際にまだあるか分からないのですが是非調べてみてください。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Food Folklore and Health	食の民間伝承と健康
科目設置学部・研究科	Food science & Technology
履修期間	2024/6/25~2024/8/1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 3 回
担当教授	Dr. Bwalya Lungu
授業内容	世界の食に関する伝承やアメリカの食料品に関する歴史、また栄養学のような内容も含まれていて、食に関して包括的に学べる授業です。
試験・課題等	Midterm が 4 回
感想を自由記入	講義内容がとても興味深く、積極的に授業を受けることが出来ました。しかし、ほぼ毎週テストがありその準備はとても大変でした。ただ、講義中に先生が重要な部分を伝えてくれたり、配布スライドでも重要な部分は分かりやすく書いてあるので単位を取得することに関してはあまり心配はいらなと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Oceans	海
科目設置学部・研究科	Geology
履修期間	2024/6/24～2024/8/2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が3回
担当教授	Tracy Thomson
授業内容	アメリカを中心に海に関する内容に関して様々な分野の視点から論じる授業です。海洋循環、干潮満潮、気候、海面上昇など他にも多くの多くの事象に関して扱っていきます。
試験・課題等	ディスカッションが3回、テストが3回、ファイナルプロジェクトが1回あります。
感想を自由記入	日本で地学の授業を受けたことがなかったため、新しい知識を多く学ぶことができ、非常に楽しかったです。しかし、試験や課題が多く大変ではありましたが、ストレスを感じることはなく、前向きに取り組むことが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Design of Coffee	コーヒーのデザイン
科目設置学部・研究科	Engineering Chemical
履修期間	2024/8/6～2024/9/13
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間40分の実験が1回、講義100分が1回
担当教授	Prof. William Ristenpart & Prof. Tonya Kuhl
授業内容	この授業は講義パートと実験パートがあり、講義ではコーヒー豆の種類や豆の挽き方、抽出法などの知識とその週の実験に関する知識や注意事項を確認します。そして翌日に実験をして、学んだ知識を実践で確認します。さらに最終週には、班ごとに使用エネルギーと味の側面から、どの班が一番理想的なコーヒーを作れるかをコンペティションで競います。
試験・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週実験前に実験に関するテスト ・毎週班で1つ実験レポートを提出 ・ファイナルテストが1回 ・デザインプロジェクトビデオを班で1つ提出
感想を自由記入	個人的に毎日コーヒーを飲むほど好きなため1番楽しみにしていた授業でした。毎講義ですぐに活かせる知識を手に入れることができたり、コーヒーの味を計算して狙って出すなど、これまでにはなかった発想を手に入れることができ、非常に楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Brewing and Beer	醸造とビールの入門
科目設置学部・研究科	Food Science & Technology
履修期間	2024/8/5～2024/9/13
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	完全オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Professor Glen Fox
授業内容	ビールの歴史から醸造法、種類などビールに関する知識を網羅できる授業です。
試験・課題等	毎週 2. 3 講分の講義に取り組み、それぞれの講の内容に関する小テストを受けます。
感想を自由記入	この授業は日本ではなかなか受けられない独特な授業だと思います。ビールに関してのより深い知識を身につけることで、普段ビールを飲む際により楽しんで飲めるようになりました。そしてこの授業は時間的に余裕があるので授業以外の時間も様々な活動に取り組むことが出来ると思います。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	
	10月～12月	選考、出願
留学開始年	1月～3月	ビザ申請、取得
	4月～7月	滞在先の確保、航空券購入、セッション1
	8月～9月	中間試験、期末試験、サマーセッション2
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

この留学先を選んだ理由は、農学分野で世界的に有名な UCD で世界の最先端に触れるとともに、現地の学生や教授と意見交換をすることで刺激を得ることが出来ると考えたからです。正直アメリカの農業と日本の農業では規模が違うためどこまで学んだことを活かせるか不安に思っていたのですが、生徒や教授、そして現地で農業に従事している方々と話すことでこれまでには無かった学びを得ることができ、非常に有意義な時間でした。

生活面全般についてです。UCD があるデービスという街はアメリカでは想像出来ない程治安が良く、安心して過ごすことが出来ました。アメリカに留学する上で治安面を心配されている方は UCD を留学先の選択肢に入れてみてください。そして、現地の人々はとても優しい人ばかりで、アジア人も多いため、コミュニティに対する疎外感を感じることも少ないと思います。そして食に関してはホームステイをするかアパートや戸建てでシェアルームをするかで異なると思いますが、シェアルームをする場合はご飯を自分で全て作らなければならないため、少し大変に感じるかも知れませんが、僕はアパートに暮らしていて自分で 3 食作っていて、最初は大変でしたが、慣れると現地のスーパーの特徴に気づいたり、週に 2 回開かれるファーマーズマーケットで買うフルーツや野菜の美味しさに感動するなど、自炊をすることで気づくことが沢山あります。おそらく多くの方がホームステイをされるとと思いますが、是非シェアルームも検討してみてください。

学習面では当初 1 回の授業の進行速度や授業中に出てくる専門用語に苦戦しましたが、1 ヶ月程度でそれらにも慣れ、スムーズに授業を受けれるようになりました。もしかしたら今後留学される方も最初は苦労されるかも知れませんが、確実に慣れるので根気強く頑張ってください。

ここからは留学先で気づいたことやアドバイスを書かせていただきます。

・まずは自転車についてです。現地では自転車を入手する手段として新車を購入する、レンタルをする、Facebook など中古を購入するという 3 つがあります。この中では金銭面と留学期間を考慮して Facebook で購入することをおすすめします。Facebook の Marketplace には毎日自転車や家具など、様々な商品が出品されています。大体数十ドルで自転車を購入できるので是非活用してみてください。

・次に教科書についてです。教科書を利用する方法としては紙の本を買うか、UC Davis Equitable Access というサービスを利用する方法があります。おそらく教科書を利用する多くの方が Equitable Access を利用することになると思います。そしてそのサービスを利用するには約 1 万円程度を My bill という学生個人ページから支払うことになります。そしてその支払いを授業開始前から出来るのですが、今後参加される際はそのサービスが必要か確認してから支払うようにしてください。僕はサマーセッション 1 が始まる際このサービスについてよく分からず、とりあえず必要そうだからと費用を支払ってしまいましたが、実際には必要なく損をしてしまいました。このサービスの支払期限が授業が始まる週の週末なのですが、おそらくその 2、3 週間前から支払いの催促のメールが届くと思います。しかし、そのメールは無視して、授業が始まりシラバスを見れるようになってから、必要な場合は入金し、必要ない場合はその旨を担当にメールしてください。送信先は催促のメールに書いてあると思います。

・次にコミュニティについてです。僕は毎週金曜日 AIM(Aggie International Ministry)という団体のパーティーに参加していました。この団体はキリシタンの方々が海外から来る学生をサポートすると共に、僕が参加していたようなパーティーを開き、そこでご飯を食べたり、人生や日々の生活に関することなどを英語で議論します。僕は 1 番最初にこのパーティーに参加した時、正直少し恐怖があり、キリシタンになることを強要されたりするのかと考えていました。しかし実際は全く異なり、AIM の人々は本当に親切で、毎週パーティーに参加することでスピーキングの練習が出来たり、キリシタンの人々の考えを学ぶことができ、このパーティーに参加することは僕の生活には欠かせないものとなりました。そして、この団体の人々とはパーティーの時だけでなく、その他の日にも一緒にご飯を食べたり、スポーツをしたり、トレーニングをしたりと多くの時間を過ごしました。もし興味を持った方は AIM のインスタグラムアカウントがあるので、そこから連絡してみてください。

色々書きましたが、どれか 1 つでも皆さんの参考になったら嬉しいです。もしかしたら楽しいことだけでなく、つらいこと、苦しいことがあるかもしれませんが、振り返ればそれらが成長の糧になります。是非留学される方は全力で楽しんでください。同志として心の底から応援しています。